



きずな 絆



2009年も終わろうとしています。ついこの間「明けましておめでとう！」と言った気がする、なんて思っているのは私だけでしょうか。師匠も走る師走はなにかと気忙しくいらいらしがちです。忙しい時ほど一呼吸。残り少ない2009年を楽しみましょう。

～介護の専門性新提案～

大好きだったおばあさんが肝硬変になり入院が必要になりました。しかし認知症もあったため受け入れ病院がみつからず、転院を繰り返す中で息を引き取ったことから、介護の道へ進むことを決意されたようです。本物の介護を求めてNPO法人に勤務。著書は「介護の専門性とは何か」があります。彼は見守りについてこんな風に語っています。「見守りを別の漢字で書くと『**看（見）護（守）**』。つまり看護です。この看護は現代的な看護の意味ではなく、ナイチンゲールが示した『**その人の内在する自然治癒力が最大限に発揮される環境を整えること**』という意味だと捉えます。」

趣味はよさこい。でもそのことより伝えたいことがある！という熱きワカモノ金山氏からの新提案です。



「うさぎと亀」の話は「何を見ていたか」を教えている。
うさぎは亀を見ていた。亀は目標を見ていた。どんな状況のときでも競争相手を見るのではなくしっかりと目標を見据えていきたい。

門川大作(京都市長)



たとえばヒマラヤに登ろうという志の人は、富士山は容易に登れるんですね。ところが富士山に登ろうという志の人は、富士山にも苦勞する。何の志もない人はその辺の低い山でも四苦八苦しみます。人間は目標以上には大きくなりません。



和地孝(テルモ会長)

☆脳のメタボ解消に「書く」ことのすすめ☆

文章を書こうとして簡単な漢字がなかなか思い出せないこと、ありませんか？これは脳のメタボだそうです。脳のメタボ解消に来年は日記をはじめてみませんか？書く行為は「癒し」にもなります。ノートが一番身近なカウンセラーとも言えるようです。脳のメタボ対策ははじめませんか！



お困りの方がいらっしゃいましたらお気軽に
社協介護支援センター（45-3073）までご連絡ください。

ケアマネが迅速に対応させていただきます。